

令和2年12月16日

医療法人 育生会 篠塚病院
院長 相原 芳昭

新型コロナウイルス感染症発生に関するご報告（第1版）

このたび医療法人育生会篠塚病院の入院患者様および職員の計5名が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明いたしました。

関係者の皆様に多大なご心配・ご迷惑をおかけすることになりましたことを、深くお詫び申し上げます。

罹患した患者様の早期回復をお祈りすると共に、患者様及び地域の皆様にご心配ご迷惑をおかけしていることを自覚し、一日も早く収束できるよう感染防止対策に全力で努めて参りますので、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

現在、院内感染拡大防止の取り組みの一環として、当該病棟職員の充足をはかることを目的に、医療提供体制を以下の通りとさせていただきます。

- 新規入院受け入れ停止
- リハビリテーションの停止
- 救急受け入れの停止

なお、外来診療は電話再診のみに制限させていただいております。外来制限期間に関しては、現在のところ、保健福祉事務所の指導を受けながら検討中です。また、救急および新規入院の受け入れに関しては、12月末日までに再開する予定はありません。

【新型コロナ感染症発生の経緯】

・12月12日（土）

一般病棟に勤務する職員の同居家族から陽性者が判明し、当該職員の抗原検査を施行したところ陽性と判明し、同時に確定診断のためPCR検査を実施いた

しました。

・12月13日（日）

当該職員が PCR 検査陽性と判明しました。発熱患者様 2 名の抗原陽性を確認し、藤岡保健福祉事務所に報告、当該患者様 2 名は、関係機関のご協力により、同日中に感染症指定医療機関へお移りいただいています。また C-MAT（クラスター対策チーム）派遣の要請と接触者の特定作業を始めました。

・12月14日（月）

該当病棟患者様、関係職員の PCR 検査を順次開始いたしました。また午後 C-MAT の指導を受けました。

・12月15日（火）

新たに入院患者様 2 名の PCR 検査陽性が判明しました。藤岡保健福祉事務所に報告して入院調整を依頼いたしました。

・12月16日（水）

上記患者様 2 名は、関係機関のご協力により、感染症指定医療機関へお移りいただいています。

【院内感染対策】

① 感染教育の徹底

C-MAT の指導により、感染防護具について職員に対する再教育を行う。患者さんのリスクに応じた適切な感染防護具の選択、ケアごとの感染防護具交換、手指消毒、器材消毒など、感染防止の徹底を図る。

② 陽性者と接触の疑いのある患者様は、特定の病室に移って頂き、感染対策を厳重に行う（ゾーニング）

③ 感染疑い者の早期発見

患者様や職員の発熱等健康状態を常に把握し、疑う場合は PCR 検査を実施

④ 初期対応の迅速化

陽性者が判明した場合は、直ちに接触者の特定作業を行い、感染状況を把握するため PCR 検査を積極的に実施する。併せて、陽性患者様の隔離、職員の就業制限を行い、感染伝播・拡大の可能性を最小限にする。又陽性患者様は、感染症指定医療機関への転院を依頼する。

⑤ 病棟間移動の最小化

病棟間の患者様移動をゾーニングに関連したもののみに関わり、医療従事者の移動を最小限とすることで、感染伝播の防止を図る。

◆新型コロナウイルス感染者数（令和2年12月16日（水）17時現在）

- ・入院患者様：4名（転院済）
- ・職員：1名（療養中）
- ・PCR検査：陰性 80名 現在 70名結果待ち

以降の新型コロナウイルス感染症者数については、ホームページのトップページに記載してありますのでご確認下さい。